

研究をおもしろく  
わかりやすく！

2021年1月4日

発行：研究・イノベーション推進機構

<https://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/>

## 2021年がスタート！ 研究に新しい風を吹かせよう

いよいよ2021年、令和3年が始まりました！今年も、きっと良い年になるはずと信じて、新しい年を元気にスタートしましょう♪

さて、今年最初のお知らせは、知財塾からです。

研究・イノベーション推進機構では、昨年10月に施行された“改正著作権法”に関わる、著作物の取り扱い、論文盗用の検証や書籍情報の検索、コロナ禍での対応等に関する「知財塾」を開催します。

教育・研究の場にかかわる著作権の法改正がなされたことに伴い、正しい知識を得る絶好の機会です。

新しい年の始まりに、新たな知識を習得しましょう。

**令和3年1月14日(木) 16:00~17:30 ※WEB**

「大学における著作権と研究倫理—著作物の正しい利用方法—」  
(改正著作権法に関する解説)

講師：山口大学国際総合科学部 教授 小川明子 氏  
(大学研究推進機構 知的財産センター長)

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、令和3年1月8日(金)までに、下記連絡先までお申し込みください。

E-mail : [chizai@hirosaki-u.ac.jp](mailto:chizai@hirosaki-u.ac.jp)



Web開催

HIROSAKI UNIVERSITY  
令和2年度  
**知財塾**

“大学における著作権と研究倫理—著作物の正しい利用方法—”

教育活動・研究活動で著作物を取り扱う場合、論文の検証や書籍情報の検索、機密学習をさせる場合の教師データの取り扱いなど、著作権法に関する知識を深めませんか？昨年1月に施行された“改正著作権法”のポイントや、デジタル化・ネットワーク化の進展に対する権利制限規定の整備、またコロナ禍での対応について講演していただきます。

<b>日時</b>	2021年 <b>1/14</b> (木) <b>16:00~17:30</b> 両日録音含む
<b>場所</b>	Web開催 (Microsoft Teams を使用)
<b>対象</b>	教職員、学生、大学院生、一般企業等 (参加無料)
<b>申込</b>	氏名、所属、役職、メールアドレス (Microsoft Teams で使用可能) を申込先までご連絡ください。(2021/1/8 (金) 締切)

講演内容

- ① デジタル化・ネットワーク化の進展に対応した柔軟な権利制限規定の整備
- ② 教育のデジタル化に対応した権利制限規定等の整備
- ③ 障害者の情報アクセス機会の充実に関する権利制限規定の整備
- ④ アーカイブ活用の活用促進に関する権利制限規定の整備

<p><b>講師</b></p> <p>国立大学法人山口大学 国際総合科学部 教授 (大学研究推進機構 知的財産センター長)</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">小川 明子 氏</p>	<p><b>経歴</b></p> <p>1980年 岡山県立短期大学文学部専攻科卒業 1980年~1984年 住友銀行株式会社 1984年 岡山県立短期大学文学部専攻科卒業 1991年~1994年 COOLBA S.A. 日本支店営業部長兼所長、営業部長 1994年 山口大学国際総合科学部専攻科助教授 1998年~2008年 Brown Japan, エグゼクティブ・マネージャー、アジア・欧米営業部長兼日本支店・オーストラリア支店・インド支店・タイ支店・フィリピン支店・中国支店・香港支店・台湾支店・韓国支店・インドネシア支店・ジャバネシア支店 担当・後継部長 2010年 山口大学国際総合科学部専攻科助教授 2018年~2019年 山口大学国際総合科学部専攻科助教授</p>
--	--

山口大学 研究・イノベーション推進機構  弘前大学 研究推進機構  弘前大学 研究推進機構  ひろしま大学 研究推進機構  山口大学 研究推進機構  岡山大学 研究推進機構  徳島大学 研究推進機構  香川県立大学 研究推進機構  高松市立大学 研究推進機構  愛媛県立大学 研究推進機構  愛媛県立短期大学 研究推進機構  愛媛県立短期大学 研究推進機構  愛媛県立短期大学 研究推進機構  愛媛県立短期大学 研究推進機構  愛媛県立短期大学 研究推進機構

お申し込み先 弘前大学 研究・イノベーション推進機構 (担当: 島村)  
お問い合わせ TEL: 0172-39-3898 FAX: 0172-39-3919 Mail: [chizai@hirosaki-u.ac.jp](mailto:chizai@hirosaki-u.ac.jp)

## 研究公正コラム 「ゆでがえる」

皆さんは、「ゆでがえる」という言葉をご存知でしょうか。煮えたる鍋にカエルを入れようとしても、カエルは嫌がって入ってくれませんが、水を入れた鍋であればおとなしく入ってくれます。この鍋を火にかけてゆっくり温めていくと、カエルはそれに気づかず、最後にはゆでがえってしまう・というお話です(注：実際にはカエルは逃げます)。

クラブ活動やアルバイトを始めた時、研究室や新しい学会に入った時、「え！ここではこんな考え方をするのか」とか、場合によっては「このやり方は普通じゃない」と思った経験はないでしょうか。そして、一年も経つと、それがあたかも当然であるかのように後輩や新人にその考え方ややり方を押し付けていた経験はないでしょうか。

人は誰も、いくつかの組織に属していますが、組織はある目的を達成するための集団であり、多くの場合、組織の価値観は世の中の平均的な価値観からずれています。このずれを認識しておかないと、自分たちの組織の価値観が世の中でも標準だ、と錯覚してしまいます。

企業や大学、官公庁での不祥事が度々報道されていますが、当事者のコメントには、常識を欠いているように見えるものが少なくありません。これは、彼らが組織という鍋の中でゆでがえているため、それが当然であり、標準だと錯覚してしまっているからなのです。

研究室・教室という狭いコミュニティに属している皆さん、あなたは「ゆでがえる」になっていませんか？

※国立研究開発法人AMED『研究公正に関するヒヤリ・ハット集』p.34より抜粋



さあ、気を引き締めて、講演会に参加！

令和2年度 弘前大学研究不正防止講演会 ※Teams

日時：令和3年1月21日(木)

15:00~15:40 (第一部)

弘前大学理事 若林 孝一 (研究・イノベーション推進機構長)

「研究不正を防止するために～過去の事例から見えてくるもの～」

15:40~16:20 (第二部)

医学研究科 教授 藤井 穂高 (リスクマネジメント部門長)

「大学教職員が気を付けるべき安全保障輸出管理」

※各部局総務グループにお申し込みください (1/13〆切)